

## 三宅島の現状（その81）

平成16年6月25日  
三宅村災害対策本部（三宅島）

### 【気象及び火山活動状況】 6月12日～6月25日

今期間の気象状況は、梅雨前線の影響により期間の始めは雨や曇りの日が多く期間の中頃は高気圧に覆われ晴天が続きました。

期間の後半21～22日にかけては、台風第6号に向かって吹く強風の影響で波浪警報が発表されましたが、島内での被害はありませんでした。

火山の活動状況は、11日、14日及び16日に火口上500mまで上昇する白色の噴煙を観測しました。なお、今期間は三宅島近海を震源とした有感地震はありませんでした。

15日、海上保安庁の協力により火山ガス放出量の観測を実施した結果、約3,500～約3,700トン/日を観測しました。

今期間、島内でのガス濃度(SO<sub>2</sub>)は、23日に三池消防器具置場で最大4.6ppmを観測しました（東京都環境局観測）。

### 【三宅島の現状】

住民の方の避難先同様三宅島も梅雨の最中です。梅雨特有の霧が雄山の腹ほどにかかり、蒸し暑い日々が続いています。紫陽花も満開に咲き誇り、雨の日は特に鮮やかな色に輝いています。

現在島内にて咲いている花は、はまゆう・ハマカンゾウ・ブーゲンビリア・ハイビスカス等です。

島内各所の復興作業も進み、帰宅事業も予定通り無事に実施され、家屋修繕や敷地内の片付け等も順調に進んでいるようです。

### 【滞在型および日帰り帰宅の状況】

#### (1) 滞在型帰宅事業の実績

6月18日から24日まで（阿古地区）	1泊参加者	25世帯	48名
	3泊参加者	38世帯	62名
	5泊参加者	24世帯	35名

#### (2) 日帰り帰宅事業の実績

6月16日（伊豆、伊ヶ谷地区）	参加者	22世帯	31名
6月23日（阿古地区）	参加者	33世帯	49名

問合せ先 三宅村災害対策本部（三宅島）電話04994-6-1549

## 三宅島の二酸化硫黄濃度の状況について

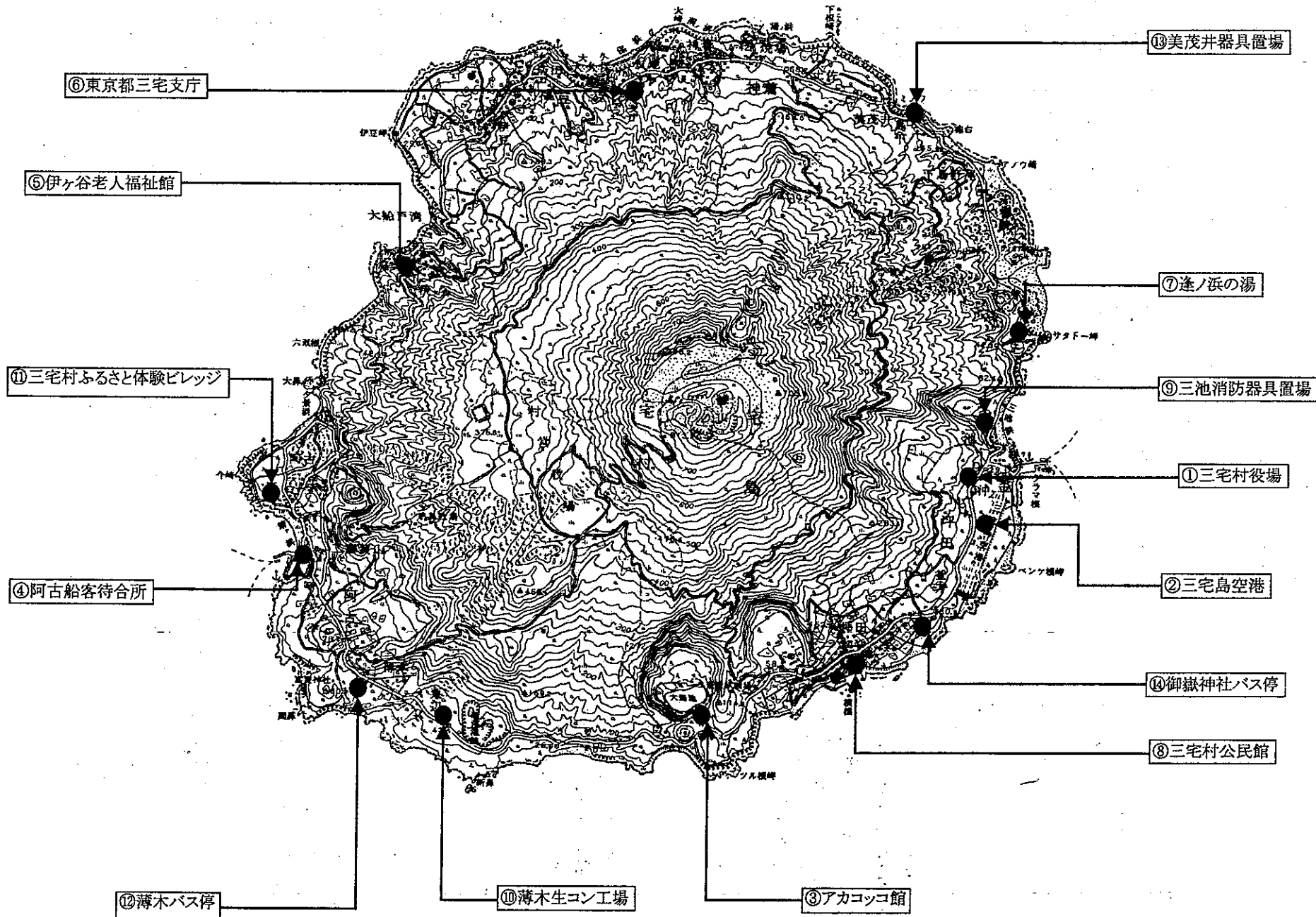
(5月1日 ~ 5月31日)

測定地点	測定日数 (時間)	日平均値 >0.04ppm 日数(割合)	時間値 >0.1ppm 時間(割合)	5分値 >2ppm 回数(割合)	日平均値 の月平均 (範囲:ppm)	1時間値 最高値 [ppm] (出現日)	5分値最高値 [ppm] (出現日時)
三宅支庁	31 (741)	4 (12.9%)	31 (4.2%)	0 (0.0%)	0.02 (0~0.14)	0.86 (5/03)	1.59 (5/09, 22:20)
美茂井器具置場	28 (715)	9 (32.1%)	143 (20.0%)	1 (0.0%)	0.10 (0~0.83)	1.40 (5/4,13)	2.06 (5/10, 18:55)
逢の浜温泉	31 (737)	14 (45.2%)	173 (23.5%)	199 (2.2%)	0.20 (0~1.33)	3.13 (5/07)	5.34 (5/18, 14:45)
三池消防器具置場	31 (738)	13 (41.9%)	137 (18.6%)	546 (6.1%)	0.29 (0~2.21)	4.83 (5/14)	6.40 (5/14, 19:10)
三宅村役場	31 (738)	12 (38.7%)	91 (12.3%)	235 (2.6%)	0.14 (0~1.38)	4.75 (5/18)	5.78 (5/18, 09:30)
三宅島空港	31 (739)	8 (25.8%)	65 (8.8%)	155 (1.7%)	0.12 (0~2.08)	7.29 (5/11)	8.77 (5/11, 14:55)
御嶽神社バス停	31 (737)	4 (12.9%)	24 (3.3%)	12 (0.1%)	0.02 (0~0.25)	1.66 (5/25)	2.80 (5/11, 16:15)
坪田公民館	31 (733)	2 (6.5%)	8 (1.1%)	2 (0.0%)	0.00 (0~0.08)	1.10 (5/21)	2.21 (5/21, 11:15)
アカッコ館	31 (735)	3 (9.7%)	28 (3.8%)	12 (0.1%)	0.02 (0~0.26)	1.61 (5/20)	2.79 (5/05, 11:30)
薄木生コン工場	31 (736)	7 (22.6%)	90 (12.2%)	162 (1.8%)	0.14 (0~1.17)	4.03 (5/01)	4.92 (5/01, 22:10)
薄木バス停	31 (735)	7 (22.6%)	82 (11.2%)	51 (0.6%)	0.08 (0~0.79)	2.47 (5/20)	4.26 (5/20, 16:55)
阿古船客待合所	30 (727)	5 (16.7%)	58 (8.0%)	70 (0.8%)	0.05 (0~0.47)	3.07 (5/15)	4.66 (5/15, 04:00)
ふるさと体験ビレッジ	31 (741)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0.00 (0~0.02)	0.38 (5/25)	0.73 (5/25, 16:20)
伊ヶ谷老人福祉館	31 (738)	4 (12.9%)	36 (4.9%)	3 (0.0%)	0.02 (0~0.25)	1.17 (5/02)	2.42 (5/02, 23:25)

※ 1時間値 : 0.1ppm (1時間値とは、正時から正時の1時間の平均濃度)

日平均値 : 0.04ppm (日平均値とは、1時間値の1日の平均値)

# 三宅島二酸化硫黄測定局設置場所



- A** 現時点で長期的影響の目安に達している観測点
  - B** 現時点で長期的影響の目安に概ね達しているが、今後の推移を注意深く見守る必要がある観測点
  - C** 現時点で長期的影響の目安に達していない観測点
- 現時点で長期的影響の目安に達している観測点であるが、高感受性者が注意を要する月平均時間(分)

伊ヶ谷老人福祉館		
長期	年平均値(ppm)	0.03
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	4.1
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	1,287
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	628
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	110
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	1

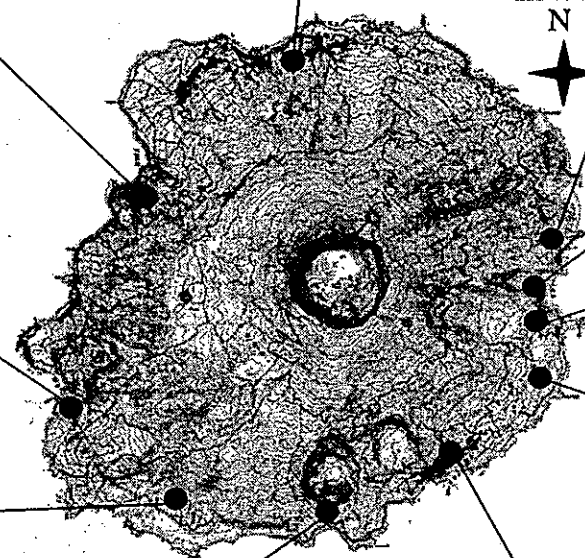
三宅支庁		
長期	年平均値(ppm)	0.01
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	2.0
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	553
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	237
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	22
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	0

逢の浜温泉		
長期	年平均値(ppm)	0.22
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	26.3
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	8,251
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	4,147
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,370
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	93

三池消防器具置場		
長期	年平均値(ppm)	0.35
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	32.4
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	11,512
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	7,798
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,959
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	189

阿古港船客待合所		
長期	年平均値(ppm)	0.05
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	7.5
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	2,273
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	1,107
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	206
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	2

三宅村役場		
長期	年平均値(ppm)	0.44
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	27.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	10,173
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	8,281
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	3,582
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	375



薄木生コン工場		
長期	年平均値(ppm)	0.18
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	18.3
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	5,611
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	3,819
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,089
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	20

アカコッコ館		
長期	年平均値(ppm)	0.04
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	5.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	3,561
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	734
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	144
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	14

坪田公民館		
長期	年平均値(ppm)	0.02
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	3.4
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	843
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	421
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	85
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	3

三宅島空港		
長期	年平均値(ppm)	0.32
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	21.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	7,781
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	6,228
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	2,895
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	135

\* データは平成15年6月1日から平成16年5月31日まで。

二酸化硫黄濃度の目安に照らした各観測点の状況



訃報

三宅村名誉村民であり、元東京都副知事の横田政次氏におかれましては、平成十六年六月二十六日ご逝去されました。

横田氏は、三宅島の二度の噴火災害に際し、東京都職員として災害復旧、復興事業に深くかかわり、昭和三十七年の噴火では島外避難した児童生徒の受け入れや援助物資の調達などで陣頭指揮を執られました。また五十八年の噴火においては、東京都の現地災害対策本部長として災害復旧、復旧対策にご尽力され、平成十年に名誉村民の称号が付与されました。

ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、村民の皆様にお知らせいたします。

平成十六年六月二十八日

東京都三宅島三宅村長 平野 祐康

# 三宅高校通信

発行 東京都立三宅高等学校  
責任者 校長 黒澤 真木夫  
〒197-0831 あきる野市下代継221  
TEL 042-558-0156 FAX 042-558-9739  
http://www.miyake-h.metro.tokyo.jp

## 芸術鑑賞教室

視聴覚部 松本 幸博

四月二十一日(水)に芸術鑑賞教室として浜松町にある劇団四季、自由劇場の方へ引率して参りました。特に今年度の芸術鑑賞教室は例年より早い時期に企画されていたため、この行事が今年度初の校外学習ということになりました。二、三年生は昨年度と同じ場所での集合でしたが、一年生にとっては初めての場所でもあり、集合時間まで不安を抱えながら待機していたわけですが、予め連絡があった一名の生徒を除いて全員定刻前に集合し、全体写真も無事に撮影することができました。



芸術鑑賞の題材について

は、前任者の意向もあり前年度ミュージカルだったので今年度は舞台ということになりました。今回は以前、文化庁芸術祭大賞も受賞した「エクウス」という題目の舞台を鑑賞したわけですが、精神のよりどころを模索する少年と精神科医との間で繰り広げられる非常にシンプルかつ深刻なテーマを抱えた舞台で、今までの芸術鑑賞教室で扱った題材の中で最も難解な内容だったと思います。生徒の反応も心配しましたが、二時間半という長時間にわたる観劇でも、皆最後までマナーを守り守り無事終えることができました。ミュージカルのような華やかさもなく、物足りなさを感じた生徒も多かったようですが、今後、三宅高校で高校生活を送っていく中で、生徒それぞれが悩み、苦しみを抱えたときにこの舞台のことを思い返すことで、それを乗り越える糸口になればと思います。

### 一学年の遠足

普通科担任 鈴木民子

五月十四日(金)一学年は、五日市にある日の出さかな園へ遠足に行ってきました。秋川駅から電車とバスを乗り継いでもたった三十分ほどの場所ですが、さかな園前でバスを降り立ったとき、前日までの雨に洗われた新緑のすがすがしい空気が私達を包んでくれました。

さかな園に着くとすぐ、生徒達は待つていましたとばかり釣りを始めました。都会の高校であれば餌の付け方など、ここで一騒ぎあるはずですが、そこはさすが鳥っ子。皆すばやくそれぞれの場所に散り、てきぱきと餌を付けて釣りを始めました。初めは「放流したマスを釣るなんてつまらない」とバカにしていた生徒達でしたが、敵もさるもの、そう簡単に捕まっ

てはくれず、なかなか苦戦していたようです。早々に釣りをあきらめ、釣った魚をわざわざもう一度放して、つかみ取りをして楽しむ生徒もいました。

その後パーベキューの昼食をとってから、近くの東京ホースビレッジという馬場へ移動し、乗馬

をしました。ここでは、引き馬ではなく、一人で馬に乗り、自分で手綱を取って馬を左右に歩かせ、体験をさせていただきます。なかなか思うように動いてくれない馬に皆四苦八苦でした。初めは馬を怖がっていた生徒たちでしたが、乗ってみるとやはり楽しかったようです。「また乗りたい。」という声も聞かれました。

乗馬の後は、生徒達の間での希望で、再びマ釣り場に移動し、リベンジをはかりましたが、教員も含め十四人で二十匹前後という結果に終わりました。とはいえ、心配された雨も何とか持ちこたえ、一年生九人、のびのびと楽しい春の一日を過ごしてきました。

### 二学年遠足 鎌倉

普通科担任 青谷知己

高校の遠足といえば定番の鎌倉班別行動。秋川からは遠いのですが、一学年十人の遠足として思い切って組んでみました。秋には自前で作る屋久島修学旅行が控えているため、班行動がどれほどできるかを確かめる意味合

いも込めて。当日は好天に恵まれ、さわやかな鎌倉散歩になりました。あじさいの季節には少し早かったのですが、丘陵地の照葉樹がまぶしく輝いて、島の新緑を思い起こさせる風景でした。集合地の北鎌倉駅前には他校の生徒で溢れていましたが、予定通りに全員が集合。事前プリントをあてにすることもなく、携帯電話片手で間違いなくやってこれる時代になったようです。

そのあと四グループに分かれて散っていくました。源氏山から銭洗弁天と山コースをたどったり、小町通りに直行して買い物に精を出したり、オーソドックスに鶴岡八幡宮や大仏を巡った人も。最大グループは、ひたすら海をめざし、海岸沿いに集合場所まで歩き通したようです。鎌倉の海の印象は、黒潮の海を見慣れた彼らには、ひどく汚れて見えたようです。十四時過ぎには海に面した稲村ヶ崎公園にみんなが集まってきました。江ノ島の見える展望台で集合写真を撮り、江ノ電の駅前まで歩いて解散しました。

彼らなりの鎌倉が感じられたとすれば、これを機会に、またいつか訪れてくれることでしょうか。さて、次は修学旅行、どうなりますか。

## 新しく来た先生より

輝かしい未来のために

農業科 久嶋 悦子

三宅高校に赴任して、早いもので二ヶ月が経ちました。赴任当時は、初めてのことが続き、毎日が緊張の連続でした。六月になりようやく三宅高校での新しい学校生活にも慣れてきたところですよ。

さて、生徒の皆さんは今、高校生という一番輝かしい時を存分に楽しんでいることでしょうか。この年代は、何にでも意欲的に取り組み、色々なことに影響を受け、そしてそれを吸収し、社会に出ていく日のために、準備をする大事な時期でもあるのです。この大事な時期をどのように過ごすかで、後の自分の人生が変わってくると思います。何もしなければ毎日は大した過ぎていつてしまします。何でもいいから

自分なりの目標を持って、一生懸命に打ち込めるものを見つけ、輝かしい未来のために、充実した高校生活を送って欲しいと思います。

全校生徒三十名という少人数ならではの良いところを、これからたくさん満喫したいと思っております。まだ、授業を担当している数名の生徒としか話をしていないので、これから学校の生活の中で、ゆつくりと時間をかけて生徒の皆さんと交流を深めていけたらと思っています。校内で見かけたら、気軽に声をかけて下さい。

## 被災から学んだこと

英語科 石河 紘史

三宅高校に転任して二ヶ月が経ちました。実を言うと、三宅高校に異動するまで三宅島に関する知識はほとんどありませんでした。実際に行ったこともないし、どの辺にあるのかさえ自信がありませんでした（今でもちとアヤシイ？）。そんな私と三宅の唯一の共通点は被災を経験したことでしょうか。一九九五年の一月十七日、高校二年生の私は神戸に住んでい

て、あの阪神淡路大震災に遭いました。誰も関西地方に大きな地震が起きるなんて予想だにしていなかった中、多くのひとが眠っている早朝を襲ったあの災害はまさに晴天の霹靂でした。あのと

私と家族は二十一階立てのマンションの七階に住んでおり、体感的には本当にマンション自体が倒れてしまうのではないかという大きな揺れでした。「やばい！死んだ！」と思いましたが、実際にはうちのマンションにはひびが入った程度でしたが、何人かの友達の家は半壊または全壊し、残りの高校生活を親類の家から通うことを余儀なくされました。私に通っていた高校もいくつかの教室と体育館が使用不可能となり、プレハブ教室での授業再開、卒業式は市の体育館を借りて行われました。そんな大地震の中で、私の友人には「地震が起きたことに気づかず

に寝ていた」ツワモノが一人いました。私がこの体験を通して実感したことは、あつて当たり前だと思っているものや、いて当たり前だと思っている人の存在の

はかなさでした。被災後、自分の中に、周りにあるもの（周りにいるひと）を大切にしようという姿勢が芽生えました。それはいつ自分の前から一瞬にして消えてしまうかもしれないのです。みなさんがあたりまえのように過ごしている高校生活は、実は結構貴重なものです。全力を傾ける価値があります。全力で頑張る君たちに僕はいつでも喜んで手を差し伸べるつもりです。これからもよろしく。

## 甲子園不参加のご挨拶

野球部顧問 山本政信

初夏を感じる今日この頃、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、三宅高校野球部ですが、全島避難以来三年間、夏の大会出場を第一目標に励んでまいりましたが、本年、夏の大会への出場を断念いたしました。毎年、物心両面から多大なるご支援を頂きながら、何も出来ずにここまで来てしまいました。本年度の入学生は九名で、全校生徒は三十名になってしまいました。

現在、野球部員は、三年生二名、二年生二名、一年生一名に、女子マネージャー一名を含め合計六名で活動いたしております。

今後、島の状況が、どのように変わっていくか判りませんが、三宅島に戻った際には、再度、大会をめざしたいと思っております。これまでのご支援に感謝し、これからも三宅高校野球部を見守って下さいますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。

## お知らせ

三宅島の緑化に協力三宅高校は東京都の三宅島緑化に関する事業に学校全体で取り組むことになりました。これは、本校の「郷土の自然や産業、伝統文化を理解し、その復興・発展に貢献する心や態度を育む。」という教育目標にそった取り組みです。三宅高校で行う取組は、「苗木の生産方法の研究」「ガスに強い植物を見つめる」「三宅島の樹木調査」など、色々なテーマが考えられます。

生徒や先生が知恵を出し合い、三宅島に少しでも早く緑が回復するよう学習しましょう。この緑化事業には、都立園芸高校と三宅高校が連携して参加します。両校が技術協力や生徒の交流をしながら三宅島に緑を回復するための学習を行います。将来は、中学生・小学生・保護者・地域の人々と協力して、緑の三宅島を取りもどしましょう。

## 小中高合同運動会

七月十日（土）【午前

十時～午後二時四十五分】に三宅村立小・中学校と三宅高校の合同運動会が行われます。今年キックベースボールやフットサルのゲームを中心に行います。高校生の友達や島民の方をさそってください。他校の生徒も事前に連絡して頂ければ無料で昼食も出ます。みんなで楽しく過ごしましょう。

## 大人の校舎内禁煙

生徒の健康を考えて、都立高校は四月から校舎内でたばこを吸うことができなくなりました。先生だけでなく保護者や来客の方々も同様です。